



働き者

と

ナマケモノ

「はたらきかた」文化論

2014年3月20日(木)

18:30~20:45 (開場 17:30)

オーバルホール

大阪市北区梅田3-4-5 毎日新聞社ビルB1

定員: 480名 ●手話通訳あり

参加費: 無料 (要申込 / 「参加証」が必要です)

主催: 国立民族学博物館・毎日新聞社



みんぱく
携帯
サイト



講演

1

「勤勉は身を助く」—フィンランドの处世術からの検証

講演要旨： 世の中では勤勉が身を助けるといわれている。果たしてそうだろうか。フィンランド人の生活をみてみるとつくづくそう思う。労働時間も作業効率も生産性も決して日本よりすぐれているとは思えない。それでも5時になれば職場をはなれて家族生活に十分時間を使い、確実に1カ月以上の年次休暇を楽しめる。よほど望まないかぎり路上に放りだされることのない彼らにとって、勤勉とは労働観とは何だろうか。



庄司 博史

国立民族学博物館 民族社会研究部 教授

専門は言語学・言語政策論、移民言語。近年は、少数言語、特に日本をふくむ各国での外国人コミュニティのもたらした多言語状況とその影響が研究課題。主な共編著に『事典 日本の多言語社会』（2005年、岩波書店）、『講座 世界の先住民 民族 ファースト・ピープルの現在 ヨーロッパ』（2005年、明石出版）、『日本の言語景観』（2009年、三元社）などがある。

講演

2

「カツオの狩人」たちの働きぶり —オキにおける漁業労働と生活文化

講演要旨： 大海原で泳ぐカツオの群れを狩るカツオ一本釣り。カツオの漁撈も3K（きつい、きたない、危険な）労働とされ、常に不確実性をはらんでいる。カツオ漁船で営まれる生活の生産と消費に注目してみると、私たちの生活に比べ特徴的であり、オキ（海上）の論理や漁民の心性が浮かびあがる。日本漁船のほか、異なった文化的背景を持つ漁民が乗り組む混業漁船でのフィールドワークの成果をもとに検討する。



若林 良和

愛媛大学 南予水産センター 副センター長・教授

専門は水産社会学、カツオ産業文化論。国内外のカツオ漁撈や鰹節製造の調査研究に従事し、カツオの価値を問い直すべく、日本カツオ学会を設立し、初代会長を務める。主な著書に『カツオ一本釣り』（1991年、中央公論社）、『水産社会論』（2000年、御茶の水書房）、『カツオの産業と文化』（2004年、成山堂書店）、『カツオと日本社会』（2009年、筑波書房）などがある。

プログラム

- 17:30-18:30 受付
- 18:30-18:35 開会 若菜 英晴(毎日新聞大阪本社 編集局長)
- 18:35-18:40 挨拶 須藤 健一(国立民族学博物館長)
- 18:40-19:15 **講演1** 庄司 博史(国立民族学博物館 民族社会研究部 教授)
- 19:15-19:50 **講演2** 若林 良和(愛媛大学 南予水産センター 副センター長・教授)
- 19:50-20:10 休憩
- 20:10-20:45 パネル・ディスカッション コメンテータ:平井 京之介(国立民族学博物館 研究戦略センター 教授)
司会:樫永 真佐夫(国立民族学博物館 研究戦略センター 准教授)

コメンテータ



平井 京之介

国立民族学博物館 研究戦略センター 教授

専門は社会人類学、東南アジア研究、日本研究。タイの日系工場、ラオスの仏教寺院、水俣のNGOなどについて調査研究してきた。主な編著書に『微笑みの国の工場』（2013年、臨川書店）、『実践としてのコミュニティ』（2012年、京都大学学術出版会）、『村から工場へ』（2011年、NTT出版）などがある。

申込方法：「3月20日講演会参加希望」と明記の上、ハガキ、FAX、又はメールにてお申し込みください。お申し込みの場合は、次の①～⑤を記載してください。

①郵便番号、②住所、③氏名、④連絡先電話番号、⑤今後の講演会などのご案内送付希望の有無（次のア～ウのうち希望する記号をア、講演会を含む民博主催の研究会・催物等の案内を希望する/イ、講演会のみ案内を希望する/ウ、いずれの案内も希望しない）

2月下旬より順次参加証を発送する予定です。

- *1：応募者多数の場合は、ご参加いただけない場合もございます。
- *2：2名様以上でお申し込みの場合は、それぞれの方について①～⑤をご記載ください。
- *3：手話通訳をご希望される方、車椅子をご利用される方は、お席をご用意いたしますので、お申し込みの際に必ずご記載ください。
- *4：参加申込をいただいた方の個人情報、参加証の発送、次回以降の講演会などのご案内以外には使用いたしません。

宛 先：〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園1-1

●FAX 06-6878-8479 ●メールアドレス koenkai@idc.minpaku.ac.jp

問合せ先：国立民族学博物館 研究協力課研究協力係

●TEL 06-6878-8209 ●URL <http://www.minpaku.ac.jp/>

注意事項：・会場には必ず参加証をご持参ください。

参加証はお一人様一枚となっております。

・参加証がない方は会場に入れないことがありますのでご注意ください。

会場



・JR大阪駅(桜橋口)から地下道にて徒歩約8分

・阪神梅田駅・地下鉄西梅田駅から徒歩約8分

※車でのご来場はご遠慮ください



国立民族学博物館